

網走地方本部青年部ニュース

第 2 号
2013年3月25日
発行
網走地方本部青年部
幹事会

2月1日～2日
網走地方本部青年部春闘一泊学習会開催

「なぜ取り組むか」を大事に しっかり声を出していこう!



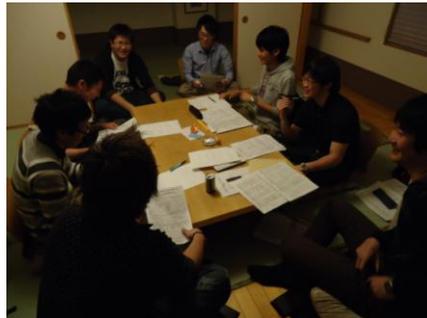
去る2月1日～2日、北見市温根湯ホテル四季平安の館で、網走地方本部青年部春闘一泊学習会が開催され、地本内の13単組総支部から、総勢63人のなかまが参加し、学習を深めました。

集会冒頭では、来賓として網走地方本部の森書記長から「給与制度の総合的見直しについて、各単組で問題点についてしっかり学習し、反対に向けた取り組みを強化してほしい」とあいさつを受けました。

「改善のための根拠整理」↓「要求書提出」という流れを具体的手法を交えながら、確認してきました。さらに具体的な事例として「日高町職の時間外実態点検からの人員増獲得」「名寄市職の冷暖房設備充実の要求」などの説明を受け、独自要求闘争についての意識を新たにしました。事独自要求闘争は、手法でなく、実態や目的を把握する事が大切です。声を出せば変えられます。しっかり声を出していきましょう。

続いて、自治労北海道本部青年部の佐藤書記長から、「春闘期の課題と各単組の具体的な取り組み紹介」と題した講演をいただきました。講演では、春闘の間サイクルから、春闘に取り組む意義を確認し、具体的にどう運動をしていくかを学習。「実態の把握」↓「なぜそうなっているのか」↓

分散会討論～課題や悩みを議論・共有～



講演が終わった後、参加者はあらかじめ決められた5～7名の班に分かれて、3時間、分散会を行い、お互いの職場の状況について情報と意見を交換しました。

各班とも自己紹介をした後に、自分の仕事の内容の他、賃金や休暇取得状況、時間外勤務の実態といった職場環境についての情報交換と、それぞれの単組における青年部活動の状況と課題について意見交換を行っています。今回は女性のみでの分散会もあり、生理休暇取得など女性

ならではの悩みも話されたようです。昨年の春闘一泊学習会では寒冷地手当に関する悩みが多く出されましたが、今回は職員住宅に関する悩みが多く出され、建物自体の老朽化、家計を圧迫する暖房費の問題、それでも民間の賃貸住宅がないので住まざるを得ない状況など、地域性も含めた青年の悩みが議論されていました。

一方、賃金に関する悩みはあまり出されませんでした。前述の「給与の総合的見直し」に反対する各種取り組みが展開されています。賃金水準が低い都道府県をベースに、さらに地方公務員の賃金削減が行われる点、高齢層を対象にした賃金カテゴリーの抑制の青年層への影響など、多くの問題があります。

分散会で共有したことも含めて、しっかり学習を深め、それぞれの運動につなげていってほしいと思います。

地本青年部恒例の交流会

新人・若手の参加者多数 今後の交流につなげていってください



1日目の一大イベントである交流会は皆さん大盛り上がりで幕を閉じました。

今回は「マシユマロキヤッチ」と「ロシアンルーレット」を行い、どちらも笑いあり、ハプニングありと、網走地本独特の色が出た交流会だったと思います。近年、新人や若手組合員の参加が特に増えていますが、この交流会を通して、地本の単組のなかまとの交流につなげていっていただければと思います。

自治労と政治について学びました

2日目の講演は、自治労と政
党の歴史、政治闘争についての
内容でした。右翼・左翼、左派・
中道・右派と耳にしたことがあ
ったけど、実は意味を正しく知
らなかつたことがわかりやすく
説明され、自治労がどういう考
えをもつ政党を支持するのかわ
明されました。

組合の集会ではよく「政治に
無関心であつても無関係ではい
られない」と言われます。自分
の知らないところで大事なこと
が決まってしまうからでは何
もできません。そのために「知
る」ことはとても大切なことと
言えます。知ったことをまわり
のなかまと共有すれば大きな運
動にも繋がるはずですよ。今回
の集会で学んだことや感じたこと
をまわりのなかまに話してみた
ら、何かしらの反応が返って
くるかもしれません。ひとりで頑
張るのではなく、まわりのなか
まと一緒に行動をしてみましょ

う。それが、当局の合理化攻撃
を跳ね返す運動に繋がってき
ます。ともにがんばりましょ
う。

分散会報告 単組に持ち帰り議論を



講演後は、第1〜第7分散会
から分散会報告を受け、職場実
態、生活実態から出た課題や悩
みを全体で共有しました。課題
解決に向けた具体の取り組みに
ついては引き出せませんでした
が、報告内容を単組で共有し、
幹事会などで議論をしていただ

編集後記

発行が遅れてすみません。今回も多くの単組の仲間が参加していただいたことに感謝します。「楽しく、でも学習もしっかり」な青年部活動を目指して、悩みながらも皆で一緒にやっていきたいと思ひます。

今後ともよろしくお祈ひします！

きたいと思ひます。
網走地本青年部では、春闘の地本一企画として職場実態アンケートを提起しました。春闘交渉は終わりましたが、職場実態の改善、課題な悩みの解決に向けた運動に時期はありませ
ん。青年部のなかまの声を聞き
だしながら、「おかしい」と思
事全体でしつかり議論して
ください。幹事だけでなく、
全体で取り組むことを大事に
しながら、運動につなげてい
ただければと思ひます。